

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 （お問い合わせ先）	大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777（通話料無料）
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

（ご注意）

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご紹介

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>

当社に関する様々な情報を公開しております。



平成22年5月発行



株式
会社



第35期 報告書

平成21年3月1日から平成22年2月28日まで



株式
会社





製販一貫体制及び売上ロイヤリティ制度の優位性を追求し、当社の強みを活かした出店戦略を進めてまいります。

代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当期の業績について教えてください。

A1 夏場の天候不順や生活防衛意識の高まりによる買い控えなどが影響し、売上は前年を下回る結果となりました。当社のチェーン全店売上高は、94,953百万円（前連結会計年度比9.4%減）、当社グループの連結業績は、営業総収入57,220百万円（同7.7%減）、営業利益444百万円（同41.1%減）、経常利益

477百万円（同42.1%減）、また当期純利益は150百万円（前連結会計年度は当期純損失2,869百万円）となりました。

Q2 当期の取り組み施策について教えてください。

A2 当社グループは積極的な出店やチャンスロスの削減に取り組み、高付加価値商品の販売、加盟店への発注支援など

を行うとともに、業務のスリム化と効率化、電子稟議決裁システム導入によるペーパーレス化など、コストの削減を進めました。

サービス面においては、お客様に支持される店舗を目指し、クロネコメール便の全店導入や広島地区での電子マネーWAONの実験導入など、利便性と接客の向上に向けた取り組みを継続的に実施してまいりました。

商品面においては、サンドウィッチやおにぎりの全面リニューアルなど、売場の活性化や低価格帯商品の導入による集客力の向上と同時に、高付加価値商品の販売により、客単価の維持に努めました。

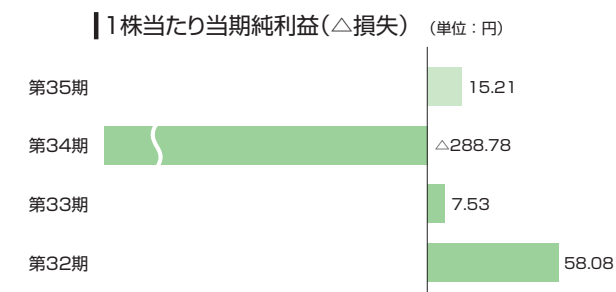
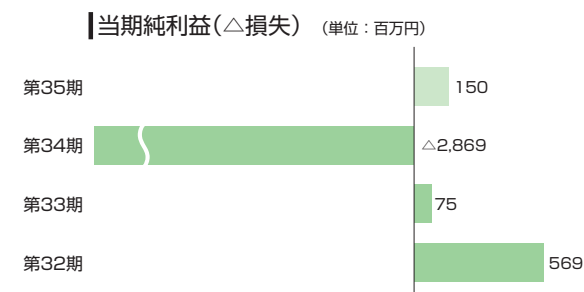
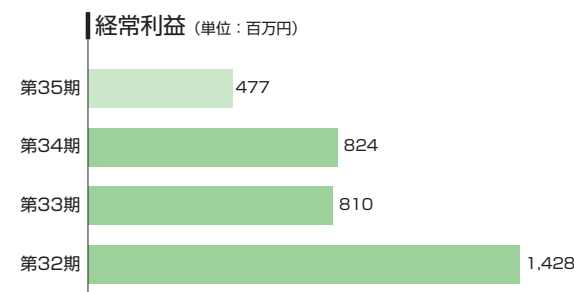
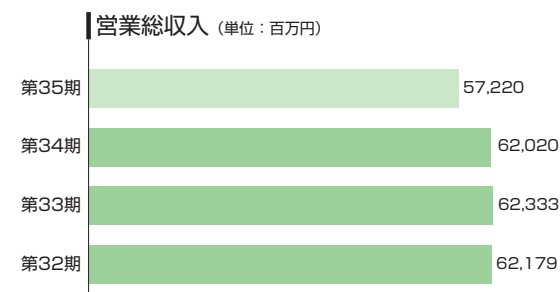
店舗については、ヒルトン東京ベイ、（独）国立病院機構関門医療センター、福山大学、岡山県庁など、限定商圈立地への出店を促進するとともに、既存店舗のスクラップ&ビルドを実施し、店舗網の拡大に取り組んでまいりました。

また、改正薬事法の施行に対応した取り組みとして、登録販売者による一般用医薬品の販売と、日用雑貨や食品等をドラッグストア系の品揃えと価格にて販売する「コンビニ&ドラッグ」店舗（舟入南店・KDDI新宿店）の実験を開始しました。

Q3 今後の見通しについて教えてください。

A3 第36期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入は59,664百万円（当連結会計年度比4.3%増）、営業利益は626百万円（同41.0%増）、経常利益は653百万円（同37.0%増）、当期純利益は165百万円（同9.9%増）を見込んでおります。

財務ハイライト



連結貸借対照表

科 目	第35期	第34期
	平成22年2月28日現在	平成21年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	5,096	6,370
受取手形及び売掛金	211	200
たな卸資産	—	1,674
商品及び製品	1,672	—
原材料及び貯蔵品	33	—
その他	2,074	2,220
貸倒引当金	△ 5	△ 6
流動資産合計	9,082	10,459
固定資産		
有形固定資産		
自社有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,533	2,213
土地	3,234	3,176
その他（純額）	405	304
自社有形固定資産合計	6,172	5,694
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,578	1,728
土地	564	516
その他（純額）	219	283
貸与有形固定資産合計	2,362	2,528
有形固定資産合計	8,535	8,223
無形固定資産	138	127
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,759	3,963
その他	2,114	2,032
貸倒引当金	△ 803	△ 790
投資その他の資産合計	5,071	5,206
固定資産合計	13,745	13,556
資産合計	22,828	24,016

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	第35期 平成22年2月28日現在	第34期 平成21年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,959	4,247
加盟店買掛金	3,390	3,926
短期借入金	132	112
預り金	1,772	1,766
未払法人税等	112	125
賞与引当金	129	121
その他	1,679	1,809
流動負債合計	11,175	12,109
固定負債		
長期借入金	—	132
リース債務	115	—
退職給付引当金	234	408
長期預り金	2,301	2,518
その他	198	139
固定負債合計	2,849	3,199
負債合計	14,025	15,308
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	3,794	3,693
自己株式	△ 91	△ 91
株主資本合計	8,763	8,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39	45
評価・換算差額等合計	39	45
純資産合計	8,803	8,708
負債純資産合計	22,828	24,016

point ① 固定資産

当期は直営店19店を含む新規出店を積極的に実施した結果、有形固定資産は312百万円の増加となりました。また、当期よりリース取引に関する会計基準が適用になったため、所有権移転外のファイナンス・リース取引について資産及び債務として計上しております。

point 2 流動負債

流動負債の減少は、夏場の天候不順、国内景気の低迷等の影響によりチェーン売上が前期比90.6%、94,953百万円となったため、支払債務が減少したことによるものです。

point③ 売上高

個人消費の冷え込みや、それに伴う低価格化の進行等の影響から、売上高は前期比92.2%と低迷し、コストの削減（前期比93.4%）に努めましたが、営業利益は前期比58.9%となりました。

point 4 特別損失

前期は、資産の見直しにより減損損失3,156百万円を計上したことや73店の閉店等により、特別損失は3,816百万円となりましたが、当期は182百万円に減少いたしました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第35期	第34期
	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月 1 日から 平成21年2月28日まで
売上高	52,125	56,509
営業収入	5,094	5,510
売上原価	41,305	44,695
営業総利益	15,915	17,324
販売費及び一般管理費	15,471	16,570
営業利益	444	754
営業外収益	76	111
営業外費用	43	40
経常利益	477	824
特別利益	104	122
特別損失	182	3,816
税金等調整前当期純利益（△損失）	399	△ 2,868
法人税、住民税及び事業税	92	107
法人税等還付税額	—	△ 39
法人税等調整額	156	△ 66
当期純利益（△損失）	150	△ 2,869

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第35期	第34期
	平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 456	5,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 640	△ 1,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 175	△ 223
現金及び現金同等物の増減額 (△減少)	△ 1,273	3,900
現金及び現金同等物の期首残高	6,366	2,466
現金及び現金同等物の期末残高	5,093	6,366

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要約)

科 目	第35期	第34期
	平成22年2月28日現在	平成21年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産	8,332	9,831
固定資産	13,966	13,624
有形固定資産	8,263	7,952
無形固定資産	137	120
投資その他の資産	5,565	5,551
資産合計	22,299	23,455
【負債の部】		
流動負債	10,776	11,681
固定負債	2,818	3,145
負債合計	13,595	14,827
【純資産の部】		
株主資本	8,702	8,630
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,649	2,649
利益剰余金	3,734	3,662
自己株式	△ 91	△ 91
評価・換算差額等	2	△ 2
その他有価証券評価差額金	2	△ 2
純資産合計	8,704	8,628
負債純資産合計	22,299	23,455

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

科 目	第35期	第34期
	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月 1 日から 平成21年2月28日まで
売上高	50,319	54,596
営業収入	5,122	5,513
売上原価	40,092	43,416
営業総利益	15,349	16,693
販売費及び一般管理費	14,899	15,937
営業利益	449	755
営業外収益	80	105
営業外費用	87	77
経常利益	442	783
特別利益	93	119
特別損失	172	3,794
税引前当期純利益（△損失）	363	△ 2,891
法人税、住民税及び事業税	88	102
法人税等還付税額	—	△ 39
法人税等調整額	153	△ 21
当期純利益（△損失）	121	△ 2,933

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



ズッコケ三人組
醤油とんこつラーメン



怪盗Xの
ばくだんおにぎり



モーちゃんの
ポリューム弁当

ベストセラー児童書「ズッコケ三人組(ポプラ社刊)」との
コラボレーションが実現

ベストセラー児童書「ズッコケ三人組(ポプラ社刊)」とコラボレーションしたオリジナル商品をポプラグループ店舗で平成21年12月1日から順次発売しました。作品の舞台が広島であったこと、出版元のポプラ社と社名が似ていたこと、などから商品コラボレーションが実現し、地元の菓子メーカーも参加して、広島を盛り立てる企画となりました。

「クロネコメール便」の取扱いを開始

平成21年9月7日からポプラグループ店舗でヤマト運輸株式会社の「クロネコメール便」の取扱いを開始しました。「クロネコメール便」サービスの導入により、ご自宅や勤務先近くのポプラグループ店舗から、写真、雑誌、文庫本、カタログ、パンフレットなどの書類を全国一律料金でご家庭のポストにお届けすることができるようになりました。

デジタルマルチコピー機の
全店入替完了

電子マネー
「WAON」を
実験導入

トムとジェリー
キャンペーンを実施
低価格ハンバーガー
Pバーガーを発売

「お手軽惣菜」を販売

新広島市民球場オープン
記念キャンペーン

ホームページ上にインターネット
ギフトサイトを立ち上げ

ポプラのホームページ上からギフト商品や生花、年賀状などの注文ができるようになりました。

コンビニ&ドラッグの実験的取り組みを開始

改正薬事法施行により、平成21年11月24日から生活彩家KDDI新宿店(東京都新宿区)、平成21年12月11日からポプラ舟入南店(広島市中区)にて、登録販売者による一般用医薬品(大衆薬)の販売を開始しました。





大学内 平成21年9月16日オープン

『生活彩家 福山大学店』 — 広島県 —

カラーコピー機の2台設置やイトインスペースを設けるなど、学生や教職員の皆様の利便性向上と魅力あるキャンパスづくりをサポートする店舗コンセプトになっております。

景観対応型 平成21年12月22日オープン

『ポプラ 津和野店』 — 島根県 —



コンビニ&ドラッグ 平成21年12月11日から販売開始

『ポプラ 舟入南店』 — 広島県 —

ポプラグループでは、病院、役所、企業内などの限定商圈立地への出店を促進するとともに既存店舗のスクラップ&ビルドを実施し、店舗網の拡大に努めています。
また、コンビニと薬局を融合させた新業態店舗をオープンさせるなど、新たな取り組みを開始しています。

空港内 平成21年9月1日オープン

『ポプラ 米子空港ターミナル店』 — 鳥取県 —



ポプラ初となる空港施設内への出店で、弁当類、ソフトドリンク類の他、旅行・出張用の雑貨品や山陰地方の土産品などを取り揃えています。



病院内 平成21年9月28日オープン

『生活彩家 済生会富山病院店』 — 富山県 —

病院内売店となるミニタイプコンビニエンスで、コミュニケーション・イメージ・リハビリテーションの空間として、患者さんや職員の皆様から求められている機能を13坪の売り場に凝縮しました。

コンビニ&ドラッグ 平成21年11月24日から販売開始

『生活彩家 KDDI新宿店』 — 東京都 —



他業種併設型（パチンコ店併設） 平成21年12月17日オープン

『ポプラ PLEXY八潮店』 — 埼玉県 —



官公庁内 平成22年1月27日オープン

『生活彩家 岡山県庁店』 — 岡山県 —

庁舎内売店にとどまらず、岡山県特産品、地産商品の販売を行うアンテナショップとしての機能を兼ね備えています。

会社概要

(平成22年2月28日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年（1976年）4月20日
チェーン店舗数	705店舗
従業員数	625名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス有限会社	3,000	(注)100(73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ企画	10,000	100	不動産管理事業

(注) 出資比率には、間接所有分（ ）を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

ポプラグループのストアブランド



役員

(平成22年5月27日現在)

取締役会長 (代表取締役)	目黒俊治
取締役社長 (代表取締役)	目黒真司
取締役	野村一雄
取締役	市村英世
常勤監査役	相良勝彦
常勤監査役	宮崎進
社外監査役	臼田耕造
社外監査役	大野勝美

株式の状況

(平成22年2月28日現在)

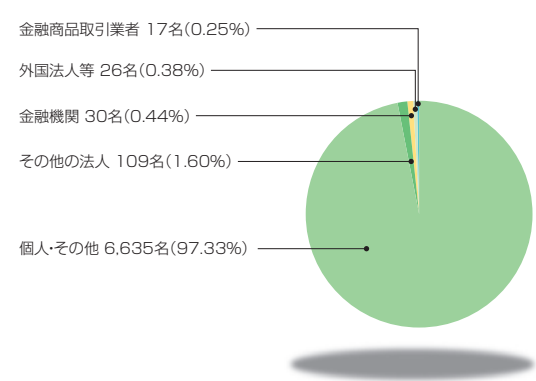
発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	10,040,018株
株主数	6,817名
第35期中間期末に比べ、532名増加しました。	

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
目黒俊治	2,824,944 株	28.51 %
ポプラ協栄会	1,250,009	12.61
ポプラ社員持株会	297,131	2.99
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	207,460	2.09
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	132,700	1.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（りそな銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口）	125,800	1.26

(注) 1. 当社は自己株式133,175株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況

